

第2回

教材番号 1 2

もうすぐ小学生！

～これまでの子育てを振り返る～（アレンジ版）

令和8年3月5日（木）14時30分～16時00分

主催団体など	平良小学校区地域学校協働本部
開催場所	平良小学校 交流棟
対象者	平良小学校新1年生と1～4年生の保護者
参加者数	3人（託児あり：申込無し）
ファシリテーター	メイン：光井 祐子さん サブ：米倉 久詠さん

▶ 講座の目的

子どもと一緒に新しい生活に楽しみが持てるよう、これまでの子育てを振り返り、入学、進級前の期待、不安、悩みを本音で話し合い、心の準備をするとともに、保護者同士のつながりをつくる。

▶ 講座の様子

1. オリエンテーション

主催者あいさつ、親プロ、3つの約束プラス1を説明。親プロファシリテーターの紹介。

2. アイスブレイク

自己紹介（名前、出身地、子供の人数、学年）と妄想インタビュー

「もしも〇〇だったら？」を、参加者同士で順番にインタビューし合う。

- * Q 自分のパパ（今のパートナー）だったら、ママ（自分）のイイところを教えて
→ A 自分がしないようなことに取り組んですごいな
- * Q ドラえもんだったら→ A どこでもドアでどこか行きたい！準備が大変！
- * Q 朝起きたとき、羽が生えていたら→ A 息ができるところまで思いっきり空を飛びたい
- * Q オリンピック選手だったら→ A マラソン選手！道具がなくても根性で頑張れるから。
- * Q 新一年生女子に戻れたら→ A 昔はいつも母にくっついてたから、もっと冒険がしたい！
・・・などの質問が出ました。

3. 3つの約束プラス1を再確認して、プログラムに沿って進行

プログラムのねらい、目的をメインファシリテーターが紹介。

設問①、②では、子育てについて各自で振り返りワークシートに記入した後、全員で話し合う。

設問①の「これまでの子育てで、楽しかったこと、うれしかったことはどんなことですか。」では、

- * 兄弟が仲良しなこと
- * 昔は子どもが苦手だったけど、我が子にハグやチューをしてもらったら嬉しくて、子ども好きになった
- * 我が子のうれしいことが、自分のことよりも嬉しい
- * 「大好き」って言ってくれること

設問②「これまでの子育てで、困ったり、悩んだりしことはありませんか。それはどんなことですか。」

- * 自分の選択で、子どもの未来に影響するのではないかと考えるとドキドキする
- * 自分を、他の親御さんと比べてしまう
- * ひとりっ子は、わがままにならないか心配

設問③「小学校入学や進級を控えて、親としてどのような期待や不安を持っていますか？」では、各自が付箋に書いた後（期待：ピンクの付箋、不安：青の付箋）、全員で話し合って、同じような項目をグループ分けしながら模造紙に貼っていった。

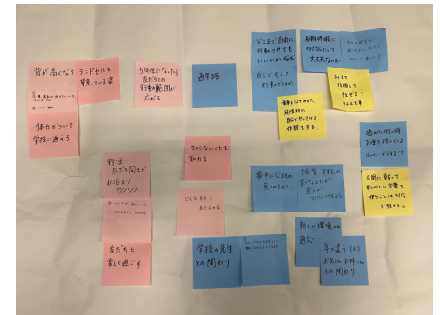
<期待> *ランドセルを背負って通学している姿を見るのが楽しみ

- *体力がついて学校に通えることに成長を感じる
- *野外活動など、家族から離れてお泊まりすること
- *自転車に乗るなど、友達との行動範囲が広がること

<不安> *子ども一人で通学させこと（通学路の道が危ない）

- *夢中になれることが見つかるのか
- *長期休暇に子どもを野放しにして大丈夫か
- *親が勉強についていけるか
- *友達と遊びに行く時のお金のルール。
- *どこまで子供の自由にさせていいか、子ども自身が考えて行動できるのか。
- *携帯電話のトラブルを知らない親がいること。

*学校の先生やお友達、他学年の子ども達との関わり、新しい環境、勉強については、期待もあり、不安でもあり、どちらにもあった



設問④「不安を解消し、期待で胸いっぱいにして4月を迎えるために、今できそうなことや心がけたいことは？」では、各自が黄色い付箋に書いて、全員で話し合いながら青い付箋の関連項目のところに貼った。

- *子どもを信頼して、任せることも大事！親の覚悟も大事と思った！
- *玄関に貼って恥ずかしい言葉を使うことはNG！と教える（子ども同士での会話・言葉使いが心配）
- *人を思いやる気持ち、相手の気持ちを考える
- *自分が嫌なことはダメ！（人によって嫌なことが違うから難しい…）
- *見守りながら、自分でやってみるを体験させる。

4. 最後に、参加者1人ずつに「今日の気づき」、感想を発表してもらった。

- ・違う学年の保護者としゃべれて楽しかった。参考になった。
- ・みんなと話せて勉強になった。
- ・こんな活動（保護者同士で話す機会を提供してくれる）をしている人が居てくれてうれしい。ありがたい。また、話したい。
- ・ラベルワークが久しぶりで楽しかった。
- ・親同士も、子ども同士（1～6年が混ざって）も話せる場が欲しい。
- ・日々の忙しさの中でも、時々話せる保護者の仲間が増えると嬉しいと思う。

▶ ファシリテーターの感想（一部抜粋）

- ・少人数であったが、話しが盛り上がったのは良かったが、話したい事を話す時間に流れてしまった。
- ・「親プロ」は、何をするのかわからない…から、参加するにはハードルが高い。
- ・本当に悩んでいる人、参加して欲しい人には、プログラムの良さが響いていない。
- ・時間配分は崩れたが、その場の雰囲気と参加者の気持ちに寄り添って、臨機応変に対応できて良かった。
- ・最初は緊張が見えたが、終盤は和やかで楽しい雰囲気になり、一人ひとりが話す時間が多く取れた。

■ 主催者から

- ・初対面の保護者を集めるのは難しいと思った。
- ・学級懇談会、PTA で活用してみたいが、時間的に難しそう。
- ・他の企画も含めて試しながら、今後もイベント企画を続ける予定。

